

授業概要

本講義では、受講生にとって身近な「アイドル」を事例に、ポピュラー音楽とメディア、産業、社会との関係について講義する。1970年代に誕生したとされる日本のアイドルは、音楽を軸に、ミュージックビデオ、ダンス、ファッション、アニメ、ゲーム、舞台など、多彩なポップカルチャーとの接点を持ちながら活動を展開する、極めて多面的な存在である。本講義は、こうした特徴を持つアイドル（特に女性アイドル）に注目し、その活動を構成する多彩なポップカルチャーについて読み解くことを通じて、現在のアイドル／ポピュラー音楽を取り巻くメディア環境、産業や社会の状況について考察を深めていく。なお、本講義は、豊富な映像資料や音響資料を用いて講義する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション——「アイドル」とは何か、多彩なポップカルチャーとの接点をさぐる
第 2 回	アイドル史 (1) 1970年代～1980年代
第 3 回	アイドル史 (2) 1990年代～2000年代
第 4 回	アイドル史 (3) 2010年代～現在
第 5 回	アイドル／ポピュラー音楽の表象 (1) アートワーク
第 6 回	アイドル／ポピュラー音楽の表象 (2) ミュージックビデオ——歴史
第 7 回	アイドル／ポピュラー音楽の表象 (3) ミュージックビデオ——分析の手法
第 8 回	アイドル／ポピュラー音楽の表象 (4) ミュージックビデオ——演出の技法
第 9 回	アイドル／ポピュラー音楽の表象 (5) コンサート——ステージ演出史
第 10 回	アイドル／ポピュラー音楽の表象 (6) ダンス——身体表現としての踊り
第 11 回	アイドル／ポピュラー音楽の表象 (7) ダンス——歌詞と振り付けの関係
第 12 回	アイドル／ポピュラー音楽の表象 (8) 衣装——ファッション史
第 13 回	アイドル／ポピュラー音楽の表象 (9) 衣装——服飾デザインと楽曲の関係
第 14 回	アイドル／ポピュラー音楽の表象 (10) ——ポップカルチャーの総体としてのアイドル
第 15 回	講義全体のまとめ——アイドル／ポピュラー音楽から読み解くメディア、産業、社会
第 16 回	学期末レポート試験

到達目標

- ・ポップカルチャーを読み解くための基礎的な知識や視点を持つことができる。
- ・ポップカルチャーについて、好き／嫌いという表層的な視点ではなく、分析的な視点を用いて客観的かつ、具体的に論じることができる。

履修上の注意

- ・講義では映像資料や音源資料を数多く紹介するため、毎回の積極的かつ主体的な参加を期待します。
- ・講義で紹介するトピックスと、受講生自身が興味関心を持つ事例（ニュース、作品、アーティストなど）とを照らし合わせて、自分なりに議題を設定し考察を深める習慣をつけてください。

予習・復習

- ・予習：次回の講義で扱うテーマについてインターネットや参考文献等を利用した自主学习を行う。関連する最新のニュースにも目を向けておくこと。
- ・復習：レジュメや参考文献に目を通し、重要事項をノートに自分の言葉でまとめること。興味関心のある事例について考察する際、参照することができる自分だけのデータベース構築を目指してほしい。

評価方法

- ・学期末レポート試験（70%）
- ・コメントカードおよび講義への参加態度（30%）

テキスト

- ・テキストは特に指定しない。
- ・毎回の講義でレジュメとコメントカードを配布する。
- ・毎回の講義で参考文献や参考資料を紹介する。